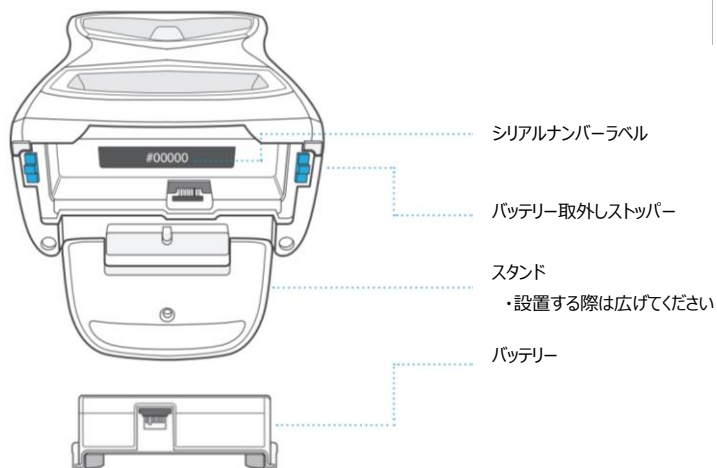
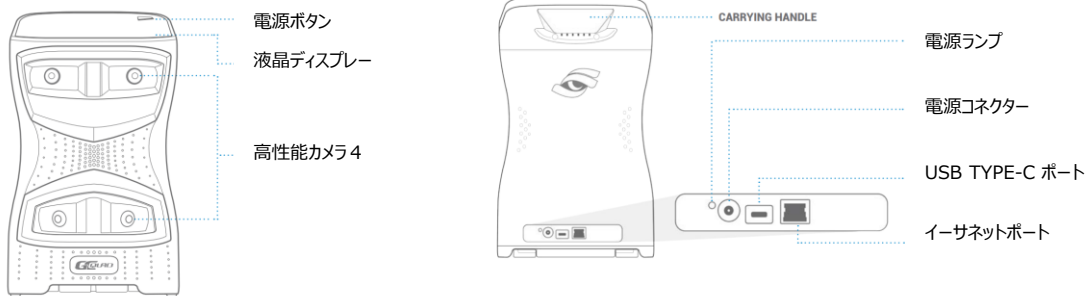
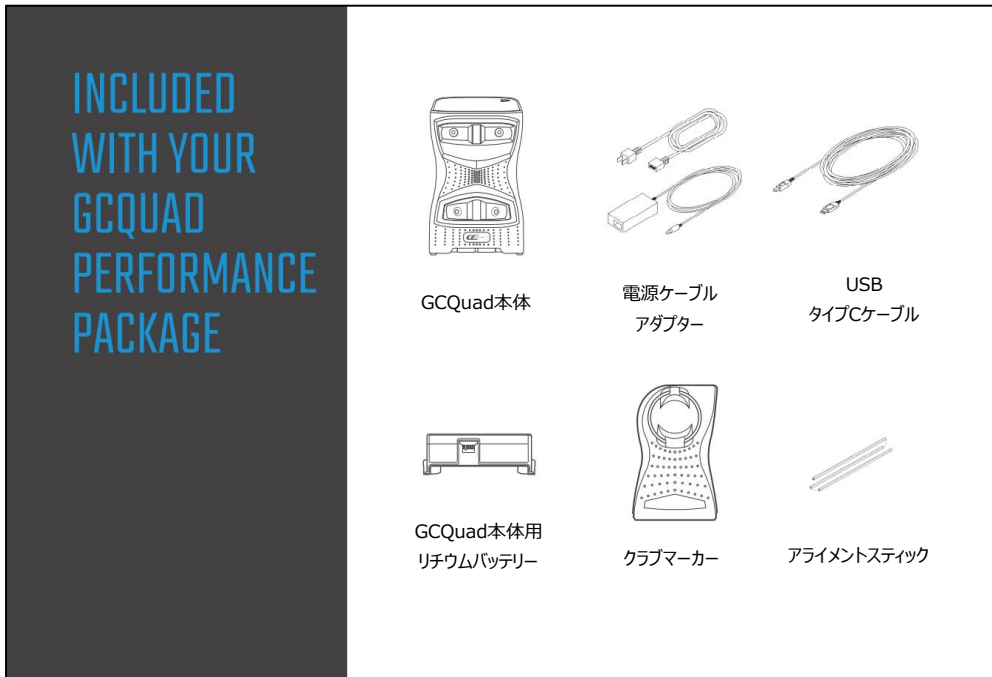




AMPLUS
有限会社 アンプラス

機材詳細



LCD DISPLAY

☀️ 液晶画面ライト

◀️ 戻るボタン
メインメニュー表示

OK ボタン

-L 左計測ボタン

⏻ 電源ボタン

⬆️ カーソルボタン

⬇️

R- 右計測ボタン



メインメニュー画面

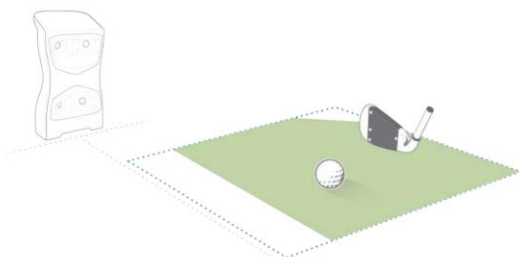


CLUB TRACKING

ヘッド情報を取り込むかは、
オンオフで切れ変えられます。
ヘッド情報機能を付けた場合のみ有効です。

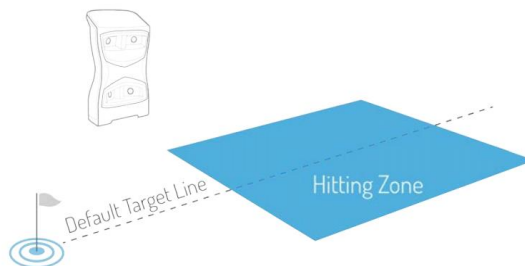


HITTING AREA
(ball+club)



TARGET ALIGNMENT

アライメントスティックで、
ターゲットの基準を設定できます。



SETTING

単位や表示項目を変更できます。

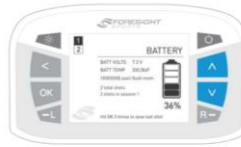


SETTING DISPLAY OPTIONS

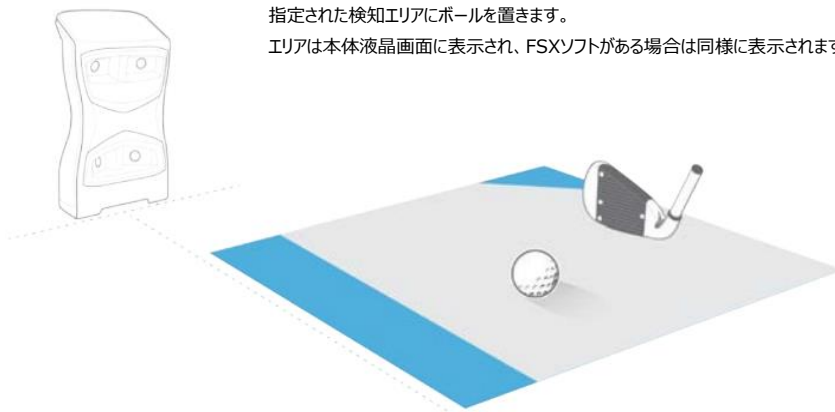
VELOCITY	MPH KMH MPS
DISTANCE	YARDS METERS
SPIN MODE	AXIS & TOTAL SIDE & BACK
FACE ANGLE	TARGET PATH
AIR PRESSURE	AUTO SEA LEVEL 2500 FT 5000 FT 10000 FT

ABOUT

バッテリーや感知内容を確認できます。
バージョンやシリアルナンバーを確認できます。



計測方法



指定された検知エリアにボールを置きます。
エリアは本体液晶画面に表示され、FSXソフトがある場合は同様に表示されます。

クラブマーカの付け方

1



フェース面にマーカが付けやすいように
クリーニングしてください。

2



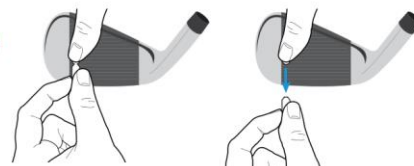
マーカを取り出します。

3



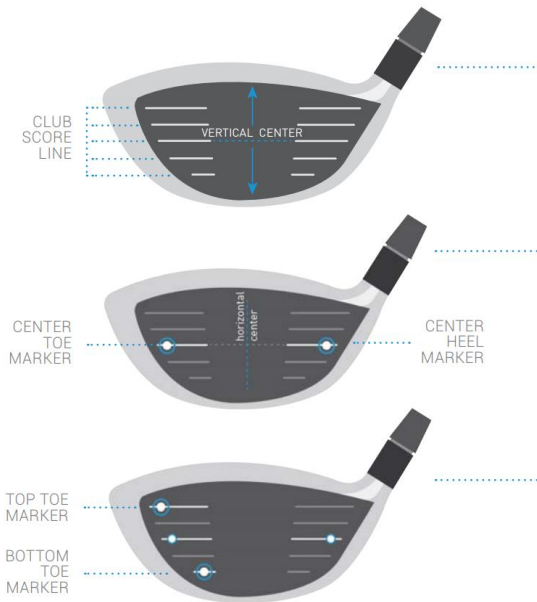
マーカを指定の箇所へそのまま貼り付けます。

4



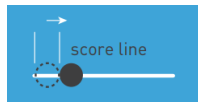
よく付着できましたら、Oだけを残して切り離してください。

ウッド・ハイブリッドの場合



フェースの中心を基準にマーカ―を装着します。
スコアラインがある場合は、スコアラインを目安に基準とします。

フェースの中心を基準に、トゥ側・ヒール側の両端に装着します。
両方の高さが合うようにしてください。
スコアラインがある場合は、それを基準とします。



スコアラインの両端内側に
付けてください。

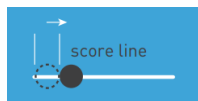
トゥ側のフェース上下に装着します。
スコアラインがある場合は、最も上と下を基準とします。
スコアラインがない場合や上下にあまりない場合は、
フェースの有効範囲を定めて装着してください。

アイアンの場合



スコアラインの下から6番目と7番目の間を中心とします。

中心を基準に、トゥ側・ヒール側に装着します。
スコアラインとスコアラインの間に、
両方の高さが合うように装着してください。

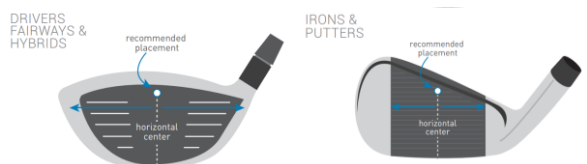



スコアラインの両端内側に
付けてください。

トゥ側のフェース上下に並ぶように装着します。
最も高いスコアライン、最も低いスコアラインを基準とします。
もしくは、フェースの有効範囲を定めて装着してください。

ワンマーカーモード

1つのマーカーでも対応できますが、取得できる項目が限定されます。



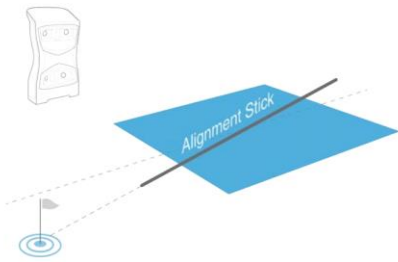


DATA CAPTURED WITH 1 MARKER

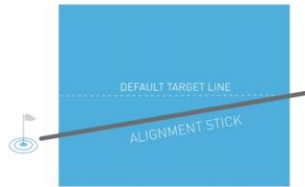
- CLUBHEAD SPEED
- SMASH FACTOR
- ATTACK ANGLE
- SWING PATH

アライメントの設定

本体が完全にスクエアでなくても、アライメント設定することで、スティックの方向を真っすぐという基準に設定できます。



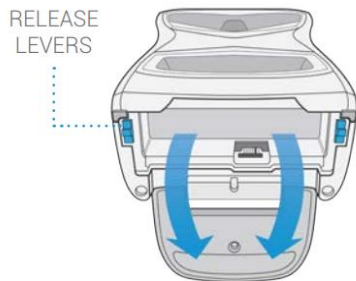
アライメントスティックを置くと、ランプが黄色になり、液晶画面に新しい基準が表示されます。確認できましたらスティックを外してください。



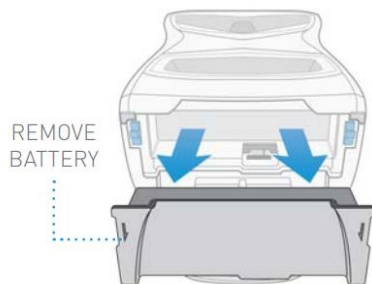
基準は常時再設定ができますが、基準を工場出荷時の状態にする場合は、メインメニュー内のターゲット設定にてデフォルトを押すとリセットされます。



バッテリーの取外し

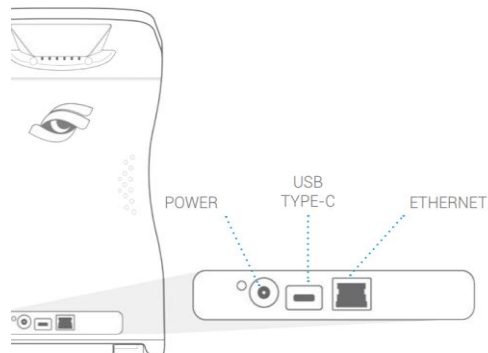


本体裏のスタンドを開き、両側のロックを外したら取外しできます。



バッテリーの品質を保つには、完全に本体の放電を行い、充電がなくなったら充電を行うということで保持されます。

接続の注意点



重要！

GCQuad専用の電源アダプターケーブル、USBケーブル以外を使用しないでください。また、差し込み口に指定以外のケーブルを接続しないでください。その影響で故障と判断された場合は、保証外になる場合がございます。

安全性について



- 異物や水が装置に入った場合は、本体電源を切り、電源アダプターケーブル、USBケーブル、イーサネットケーブルを抜き、バッテリーを取り外してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 本体を分解、変更、または修理しないでください。感電の原因となり、メーカーの保証が無効になります。
- 本体は、高温湿度、煙、または埃が原因で故障する場合がございます。
- 計測中は本体発光部を直視しないでください。
- GCQuadは、ボールの衝撃に耐えるように設計されています。ただし全てに耐久性があるわけではありません。ボールが原因で装置または液晶画面が損傷した場合や、異常が起きた場合、電源を切り、使用を中止してください。
- 本体に付属の電源アダプターのみを使用してください。その他の電源アダプターまたは充電器がGCQuadまたはバッテリーに損傷を与える可能性があり、火災や感電の原因となります。
- GCQuadは、正確に構成された4つのデジタルカメラを使用します。落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 使用後は、本体を常に安全で乾燥した、ほこりのない場所に保管してください。



AMPLUS
有限会社 アンプラス